

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年1月30日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年1月28日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨーク・セント・ジョン大学(日本語名) YORK ST JOHN UNIVERSITY(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月～2024年1月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～1 月中旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	8000
創立年	1841

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (£)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学なのでなし
宿舍費	2020.54	378449 円	
食費	472.12	88000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	33.19	6187 円	現地格安 sim 使用
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	160.95	300000 円	友人との遊びや旅行
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	270.37	50395 円	形態: 大学指定の保険
渡航旅費	1706.23	318030 円	
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	0	0 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計	4663.4	1141061 円	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省からのメールは必ず確認するようにしました。ヨークはイギリスでも治安の良い街で有名なので特に危険を感じることはありませんでした。しかし、夜の外出はできるだけ人としたほうが良いと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

最初に使っていた sim カードが私の携帯と相性が悪く、カスタマーセンターとやり取りし、新しいものを送ってもらいました。しかし、替えても調子が悪かったため、途中で他社 sim カードに替えたところ問題なく使えたので、ネットの繋がりが悪ければ sim カードを替えてみることをお勧めします。

寮の wifi はフラット毎に差があり、私のフラットはとても弱かったです。スマホがなかなか接続できませんでしたが、パソコンやタブレットは接続できたので課題は問題なく行っていました。学校の wifi はとてもスムーズに使えました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを主に利用していました。イギリスはキャッシュレス化がかなり進んでいるため現金をお会計で使用したことはありません。友人との割り勘時にのみ現金を使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

日本の食べ物は基本的に高いので、醤油やお好み焼きソース、だしなどの調味料を持っていくことをおすすめします。私が持ってきて良かったと思う物は 100 円ショップで販売している電子レンジでパスタを茹でられる容器と米を炊ける容器、カレーやシチュー、鍋の素です。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 大学から送られてきたリストの中から選ぶ	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing	マーケティング原理
科目設置学部・研究科	York Business School
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 210 分が1回
担当教授	Emma Johnson, Winojith Sanjeewa
授業内容	マーケティングの概念や基本的な分析(PESTLE 分析や SWOT 分析など)を学ぶことができる。
試験・課題等	15 分間のグループプレゼンテーション(中間)と 2000 字のエッセイ(期末)
感想を自由記入	授業自体は、基礎的な内容であったため、理解しやすかった。また、グループプレゼンテーションでは、価値観や文化が異なるメンバーで共同作業を行う難しさを感じた。なお、この授業の受講者も Castle Howard の遠足に参加できた。(次の欄で詳しく説明)

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Tourism Insight and Industry	観光業界とその洞察
科目設置学部・研究科	York Business School
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Jenny Hall
授業内容	観光と業界について概念から詳しく学ぶ。理論的な説明が多い。
試験・課題等	15 分のグループプレゼンテーション(中間)と 1750 字のエッセイ(期末)
感想を自由記入	元々観光に興味があったため、楽しく講義を受けることができた。また、授業期間内に一度、ヨーク郊外の Castle Howard に遠足に行き、その運営やマーケティング戦略について学びつつ、同じ授業を受けていた友人と良い思い出を作ることができた。(毎年行っているかは不明)

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Gender, Sexuality and Media	ジェンダー、セクシュアリティとメディア
科目設置学部・研究科	York Business School
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Robyn Timothy
授業内容	メディア(広告や映画、ゲームなど)におけるジェンダー観やその変遷について社会学の概念を基に学ぶ
試験・課題等	750 字のエッセイ(中間)と 1750 字のエッセイ(期末)
感想を自由記入	2 年生向けの授業であったことと社会学の概念について学んだことがなかったことから授業内容は難しく感じた。しかし、クラスメイトとの意見交換などを通じ、ジェンダー観について幅広く学べた。また、教授の方が優しく、こちらの質問に対し真摯に対応してくれた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

海外事業に携わることができるという就活軸で業界、会社を検討しています。主に日系の会社を考えています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるとのあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

時差が 8~9 時間あったため、正直インターンシップなどの出席がしんどい時もありました。また、コロナも収束に近づき、対面でのイベントも多かったため留学中に就活をする方はかなり焦りを感じてしまうかもしれません。しかし、私はこの留学を通じて、将来どのような仕事・業種に就きたいかが明確になったと思います。また、様々な経験を通じて、“自分”について知る良い機会となりました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月 ~ 3月	英語の勉強
	4月 ~ 7月	英語の勉強、英語検定の受験
	8月 ~ 9月	
	10月 ~ 12月	協定校留学応募、面接、派遣先決定
留学開始年	1月 ~ 3月	
	4月 ~ 7月	出願、準備
	8月 ~ 9月	渡航、welcome week、授業開始
	10月 ~ 12月	中間課題、reading week、最終課題、授業終了
留学/帰国年	1月 ~ 3月	帰国
	4月 ~ 7月	
	8月 ~ 9月	
	10月 ~ 12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

新型コロナウイルスのため、夢であった留学を諦めていましたが、パンデミックも収束に近づき、就職してから海外に住む機会はないかもしれないと考え、大学間協定留学に応募いたしました。その中でも私がこの大学に決めた理由は、元々ロイヤルファミリーなどイギリスやその文化について興味があったこと、イギリス国内でも治安が良いと有名なヨークに留学したいと思ったからです。実際に留学した感想として、イギリスは他のヨーロッパと比べ、治安はかなり良いと感じました。ヨークは中世の歴史が感じられるとても素敵な街で、4 か月間という短い滞在でもこの街が大好きになりました。ロンドンやエディンバラにも電車で 2 時間ほどで行くことができ、市内も観光業が盛んなため観るところがたくさんあります。ランドマークであるヨークミンスターはとても大きい聖堂で、学生証を提示すれば入場料が無料になるため何度も訪れました。ヨーク・セント・ジョン大学は小規模な大学ですが、ジムやカフェなどの施設が充実していました。授業は、明治と異なり 3 つしか履修ができない分、一つ一つの授業時間が長く、課題もたくさん出ます。しかし、親身な教授の方が多いため、分からないところがあれば気軽に聞くこともできますし、授業中は他の学生とディスカッションをする機会もあります。

留意点として、この大学には他大学から来た日本人留学生がたくさんいます。よって、日本語ばかりの生活をすることも可能です。私は他の日本人の学生とも仲良くしつつ、学校やヨーク市内で行われていたディスカッションのクラスやイベント、フラットメイト・他国の留学生との交流を通じて英語を話す機会を作りました。留学中の過ごし方は人によって異なりますが、目的をしっかり持って日々過ごすことが大切だと思います。

また私は 1 セメスターでの留学でしたが、本当にあっという間に終わりました。1 年留学の人達が羨ましくなるくらい充実した生活を送ることができたと思います。これを読んでくださってる皆さんの中には、外国での生活に不安を感じている方もいると思います。しかし、行ける環境・状態にあるのであれば、ぜひ挑戦するべきだと思います！私も初めての留学で不安を感じていましたが、多くの困難を乗り越え、たくさんの人と交流したことで自分自身の成長に繋がりましたし、何より楽しむことができました。近年、留学する人が増加していますが、まだまだ金銭面などで全ての人に与えられた選択肢ではないと思います。だからこそ、機会を逃さないでほしいです。日本では経験できないことをして、多くのことを吸収してほしいです。

英語の勉強や留学、イギリスでの生活についてご質問がある方は、私にメールを送っていただければ何でもお答えします！英語の勉強や資金集め、書類作成などやることがたくさんあり、大変だと思いますが、これを読んでくださった方が充実した留学生活を送ることができるよう応援しています！

